

令和3年度 静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場体験学習施設
指定管理者評価委員会 年度評価結果

1 要旨（評価概要）

静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場体験学習施設（愛称：ウォット）における指定管理業務を、より適正な管理運営や提供するサービスの向上に繋げていくため、令和3年度の指定管理実績を外部有識者による評価委員会により評価したところ、平均評価点は93.2点（100点満点）であった。今後の業務改善に活用していく。

2 評価委員会の概要

評価年月	令和4年2月（書面）		
評価年度	令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）		
評価対象者	（指定管理者）環浜名湖の地域活性を考える会		
評価委員 （50音順）	杉本 達男	（静岡県西部地域局長）	
	土屋 考司	（伊豆・三津シーパラダイス飼育長）	
	土屋 宏幸	（浜松市舞阪協働センター所長）	
	寺田 久美子	（舞阪の自然を守る会事務局長）	
	長谷川 勝治	（委員長）（元静岡県立焼津水産高等学校校長）	

3 評価項目と配点

評価項目	評価細目	上限点数	ウェイト	評価合計点数
1 基本的報告事項	(1)開館状況	5点	2	10点
	(2)利用者数	5点	2	10点
	(3)職員配置状況	5点	1	5点
	(4)展示魚等の飼育管理状況	5点	2	10点
2 県民の平等な利用の確保及びサービスの向上	(5)利用者の満足度の状況	5点	2	10点
	(6)多くの人々への学習機会の提供	5点	3	15点
3 体験学習施設の効用を最大限に発揮	(7)利用者の拡大のための努力	5点	3	15点
4 安定した管理能力	(8)危機管理体制	5点	2	10点
	(9)設備・備品管理能力等	5点	1	5点

5 前年度までの改善提案への対応	(10)改善状況	5 点	2	10 点
合 計		50 点		100 点

配 点	評価区分
5 点	大変評価できる
4 点	概ね評価できる
3 点	評価できる
2 点	やや努力を要する
1 点	努力を要する
0 点	評価できない

ウエート	評価の重要度
3	特に重要
2	重要
1	普通

4 評価結果

評価項目	評価細目	評価合計点数 (平均)
1 基本的報告事項	(1)開館状況	9.6 点/ 10 点
	(2)利用者数	9.2 点/ 10 点
	(3)職員配置状況	4.4 点/ 5 点
	(4)展示魚等の飼育管理状況	9.2 点/ 10 点
2 県民の平等な利用の確保及びサービスの向上	(5)利用者の満足度の状況	9.2 点/ 10 点
	(6)多くの人々への学習機会の提供	13.8 点/ 15 点
3 体験学習施設の効用を最大限に発揮	(7)利用者の拡大のための努力	14.4 点/ 15 点
4 安定した管理能力	(8)危機管理体制	9.2 点/ 10 点
	(9)設備・備品管理能力等	4.6 点/ 5 点
5 前年度までの改善提案への対応	(10)改善状況	9.6 点/ 10 点
合 計		93.2 点/100 点

5 委員の主な意見

項目	委員コメント
(1)開館状況	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言により休館日が増加したのは残念であるが、可能な限りの開館努力は評価できる。 ・コロナ禍によるやむを得ない妥当性のある休館はあるが、それ以外は適切に開館している。
(2)利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度同様のコロナ禍にあつて、入場者数を更新している。 ・同指定管理者になってからの月別最高利用者数が、4か月間（7月、10～12月）更新されており大変評価できる。
(3)職員配置状況	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の職員が確保されている。 ・適切な職員配置ができており、研修等の職員のスキルアップ対応も評価できる。
(4)展示魚等の飼育管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・種、個体数共に増加しており、飼育管理の充実を見ることができている。 ・利用者の目を引く工夫された展示方法と、魚類の生態にあった飼育管理ができています。
(5)利用者の満足度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・実施事業において、企画が斬新であり、申込み比率が100%以上であることは評価できる。 ・アンケートでは、子どもの目線に立った対応ぶりが評価されている。 ・コロナ感染対策により一般のアンケートは実施しなかったが、体験教室等参加者のアンケート結果によると概ね満足していることが確認できる。 ・今後も利用者ニーズを的確に捉えた展示や企画を期待する。
(6)多くの人々への学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・受入事業では、校外学習、インターシップ、職場体験等、学習機会の提供を十分に果たしている。 ・体験教室、特別講座イベント等、多くの学習機会を提供している。 ・コロナ禍でも実施できる事業が必要。
(7)利用者拡大のための努力	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関に広く、積極的に広報活動を行っており、評価できる。 ・各種企画が新聞やテレビで数多く取り上げられ、利用者拡大に繋がっている。
(8)危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症等を含む危機管理体制に対応している。 ・休日などの利用者が多い場合の避難誘導人員が不足する可能性がある。 ・災害等緊急マニュアル等、マニュアルが整備されている。
(9)設備・備品管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による故障等の管理は、的確に行われている。 ・日常点検が、点検簿で管理されている。
(10)改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・提案事項に対して、改善に努力しており、丁寧に対応している。